

①-B

【声優・俳優向け説明資料 編】

実演家の声と権利を守る
AI・デジタルレプリカ・生成音声利用ガイドライン

《声優の声が AI に使われるときの “3つのリスク”》

1. インプットリスク

録音された声が 勝手に AI の学習に使われる 危険。

例

- 過去のアニメの音声がスクレイピングされる
- 収録スタジオのクラウドがデフォルトで“AI 学習許諾”になっていた
→ あなたの声そっくりの AI モデルが第三者によって作られる可能性がある。

2. アウトプットリスク

あなたの声を使って AI が新しい台詞を勝手に生成する 危険。

例

- 本人の演じていないセリフを自動生成
- 叫び・泣きの演技も AI 再現
- CM や SNS で勝手に利用
→ 人格・キャリア・信用の毀損につながる重大リスク。

3. 二次利用リスク

「一度同意した作品」以外に勝手に使われる危険。

例

- 別作品に流用される
- 新シーズンに勝手に出演させられる
- ゲーム版、海外版、PR 素材に流用される
→ 國際基準では “再利用完全禁止” が原則。

AI 危険判断カード（現場用）

《AI危険サイン一覧》

「少しだけ AI で修正できますけど？」
「差し替えは AI がやっておきます」
「クラウド保存は気にしなくていいですよ」
「台詞追加ですが今日は来なくて大丈夫です」
「声のサンプルを渡してもらえますか？」
「別の作品でも同じ声を使いたいのでデータ共有します」

→ どれも危険。必ず事務所に連絡。

《チェックシート》

- AI に関する同意書を提示された
- 同意書の内容に「用途」「期間」「作品名」が明記されている
- 技術目的（ノイズ除去等）の範囲が書かれている
- “AI による新規生成を禁止”と明記されている
- “再利用禁止”の条項がある
- “撤回権・削除権”の説明がある
- データの保存場所・アクセス権の説明がある
- 外部委託先への提供禁止条項がある

※1つでも欠けたら 同意不可。



参考資料

1. AI時代に守られるべきあなたの権利 (3C)

① CONSENT	(同意) 事前説明＋書面許可が必須
② COMPENSATION	(対価) 利用には必ず報酬が発生
③ CONTROL	(コントロール) 拒否権・撤回権・用途指定

→ どれか1つでも欠けたら AI利用は認められません。

2. AIに使われる「あなたの声」の種類

あなたの声（生声）

- |—① AI訓練（データを学習させる）
- |—② デジタル・レプリカ（あなたの声そっくりAI）
- |—③ AI生成音声（作品に使用される音声）

3. 「許可していないのに起きるNG利用」例

- AIであなたの声を勝手に生成
- 似た声を作りSNS広告に使用
- あなたの演技をAIで補完して別作品に利用
- 過去収録の音声が勝手にAIモデルに組み込まれる

4. 「同意書には3つの項目が必要」

A : AI訓練に使ってよいか？

B : デジタル・レプリカを作つてよいか？

C : AI生成音声を作品に使ってよいか？

→ 3つは別々に許可しなければならない（SAG方式）。

本ドキュメントは、協同組合 日本俳優連合 事務局が編纂し、保有する機密かつ専有的情報です。権限のない第三者による開示、複写、複製、転載、改変、虚偽の再製、配布、転送、その他これらに類する行為は形式・媒体を問わず一切禁止します。本書の内容を、生成AI・機械学習・検索インデックス・データベース化・スクレイピング・要約・再学習等の目的で利用することも、事前の書面による許可なく禁止します。

【編纂・発行】協同組合 日本俳優連合 事務局 東京都 新宿区 西新宿 6-12-30 芸能花伝舎 3F | EMAIL : legal@nippairen.com | WEB : nippairen.com/

日本俳優連合

5. 「拒否してもキャスティングに影響はない」

→これは国際基準（SAG・FIA）での絶対条件でもあり、日本でも「拒否して不利益を受けさせなければならない」。

6. 不安を感じたら確認すべきポイント

- ・何に使われる？（用途）
- ・どこで使われる？（媒体・地域）
- ・いくら支払われる？（対価）
- ・どれだけ使われる？（範囲）
- ・いつまで使われる？（期間）
- ・モデルは削除される？（撤回権）